

授業科目名・形態	基礎助産学 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤 優子・	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

### 【授業の主題】

ライフサイクル各期における女性及び妊産褥婦を理解するために、必要な女性生殖器の構造と機能について深く学ぶ。さらに生殖器に関連した病態生理、疾患、検査、治療について学び、思春期から老年期までの女性の健康問題に対するケアや支援をするために必要な知識を学ぶ。

### 【到達目標】

1. 女性および男性の生殖器の正常な構造と機能について基礎的な知識を深める。
2. 妊娠の成立と維持の機序と母体の身体的変化について理解を深める。
3. 性の正常な機能と障害について考えることができる。
4. 不妊症、遺伝疾患、母子感染症などについて学び、これらの問題を抱える女性や母子に対するケアや支援について理解できる。
5. ライフサイクル各期における健康問題とケア・支援について理解できる。

### 【授業計画・内容】

第1回	母性の身体的特徴	(工藤)
第2回	生殖生理に関連する視床下部一下垂体機能	(工藤)
第3回	卵巣機能	(工藤)
第4回	妊娠の成立と維持機構／胎児胎盤機能・母乳分泌の機序	(工藤)
第5回	性の行動と機能	(工藤)
第6回	遺伝と遺伝性疾患／出生前診断	(工藤)
第7回	生殖補助医療の実際と問題点	(工藤)
第8回	母子と免疫	(工藤)
第9回	母子感染	(工藤)
第10回	女性のライフサイクル各期における主な疾患と助産ケア	(工藤)
第11回	周産期の異常①(妊娠期・分娩期)	(医師担当)
第12回	周産期の異常②(産褥期・新生児期)	(医師担当)
第13回	麻酔・薬剤・産科手術・器具	(医師担当)
第14回	産科救急(出血・ショック)	(医師担当)
第15回	周産期における超音波診断法	(医師担当)

### 【授業実施方法】

主に講義

### 【授業準備】

テキスト、および関連書籍の該当頁を熟読し予習をすること。講義終了後は各自理解を深めるようにまとめること。

### 【主な関連する科目】

助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

### 【教科書等】

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座2、基礎助産学[2]母子の基礎医学、医学書院  
 我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座6、助産診断・技術学[1]Ⅱ妊娠期、医学書院  
 我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座7、助産診断・技術学[2]Ⅱ分娩期・産褥期、医学書院

### 【参考文献】

日本産婦人科学会／日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科ガイドライン 産科編2017  
 武谷雄二他監修：プリンシプル産科婦人科学2産科編 第3版 MEDICAL VIEW

### 【成績評価方法】

筆記試験 100%

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

特定機能病院において助産師として勤務しハイリスクの妊産褥婦、新生児のケアを行ってきた。臨床での根拠のある看護実践の大切さを伝えたいと思う。

### 【学生へのメッセージ】

授業を理解するため予習・復習は必須です。理解できなかった箇所は明確にして、調べる、教員に質問するなどして整理し、自身の言葉で説明できるように理解を深めましょう。